

質 問 回 答

2019年10月21日

「ベトナム国ベトナム北部山岳地域における土砂災害対策に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式))」

(公示日:2019年10月9日/公示番号:19a00561)について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	p-16/ 第 2 仕様書/ II 特記仕様書/ 5. 実施方針及び留意事項	<p>「省よりも下のレベルの地方政府(県、村等)との連携や役割分担も不可欠であり、情報収集・分析で把握した状況を踏まえて適宜、調査の進め方等を設定するものとする」</p> <p>収集する情報にムラが生じない工夫も必要であるため、災害特性に応じてある程度統一的な進め方が重要であり、インセプションに明記する内容と考える。地方との連携で調査方針が修正された場合はそれを全体に展開する必要があるため、インセプションレポートでの方針を修正する状況が予想される。インセプションレポートの修正は構わないのか。</p>	<p>ベトナム側、JICA との議論、調整をする中で、後日インセプションレポートを修正する可能性があることについては、問題ありません。</p>
2	P18 6.3	<p>セミナーやワークショップの開催に対し、費用計上を行う必要はありますでしょうか。その場合、現段階では不確定要素が多いため定額計上させて頂けますと幸いです。</p>	<p>セミナーやワークショップの会場費については現時点で本調査以外の予算で負担することを想定しています(もしくはベトナム側の希望によって、先方省庁等の施設内の会場を活用する可能性もありますが、この場合も費用は発生しません)。よってご提案の段階で計上の必要はありません。</p>

3	P18、19 6.6、6.7	6.6 で示されるドラフト・ファイナル・レポートのベトナム側関係者への説明・協議と、6.7 の最終報告会は同義と考えてよろしいでしょうか。別のものであるとすれば、その意図は何でしょうか。	6.6 で示されるドラフト・ファイナル・レポートのベトナム側関係者への説明・協議と、6.7 の最終報告会は同義と考えて問題ありません。
4	P19 7.1	越文への翻訳費を計上する必要があると思いますので、各レポートの想定するページ数を教えて頂けないでしょうか。	レポートのページ数はご提案内容、調査内容によって当然変わってくると存じますので定めることはできませんが、目安としてインセプションレポート 50 ページ、インテリムレポートが 100 ページ、ファイナルレポートが 200 ページ程度と想定しています。
5	入札説明書_第 3 技術提案書作成要領(23 頁)_2. 技術提案書作成に係る要件・留意事項(2)業務量の目途及び業務従事者_1)作業人月	当該箇所文中に「(現地渡航回数 4 回)」との記載がありますが、これは ① 1 人当たり 4 回(4 名とも 4 回渡航) ② 1 人当たり最大 4 回(4 名が活動に応じてそれぞれ 1~4 回渡航) のいずれを想定されているでしょうか。 また②の場合、4 名合計の想定渡航回数ももしございましたら、ご教示いただけませんかでしょうか。	入札説明書の「現地渡航回数 4 回」を「8 回」に訂正します。現地業務が計 4 回、必ずしも各回到 4 名の従事者全員が渡航するとは限らないことから、従事者全員の総渡航回数を 8 回と想定していました。各調査団員の渡航回数をご提案内容、調査内容等によって変わりますので、JICA 想定を踏まえ、仕様書で定められた成果が得られる渡航回数、現地滞在日数、作業工程等をご提案ください。

以上